

事務事業チェックシート

事務事業No 582 事業名 体育施設予約システム整備・運用事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業種別	継続		
事業期間	～ 永年		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市行財政改革大綱		
担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	小川 直寛	435-1364
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		スポーツ振興費	
	大事業		スポーツ振興事業	
中事業		体育施設予約システム整備・運用事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 体育施設予約システムを運用することで、市民サービスの向上並びに施設の稼働率アップを図ります。		全体事業概要 体育施設予約システムの整備・運用に係るインターネット費用等の経費を支出しています。				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
体育施設予約システムの運用		体育施設予約システムの運用	体育施設予約システムの運用	体育施設予約システムの運用	体育施設予約システムの運用		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	847	794	767	748	767	769	767	767	767	767
伸び率(%)	-	-	▲9.4%	▲5.8%	0.0%	2.8%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	749	864	864	968	968	963	1,269	1,269	1,269
	正規職員以外									
	小計	749	864	864	968	968	963	1,269	1,269	1,269
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	847	794	767	748	767	769	767	767	767	767
所要人数(人)	正規職員	0.10	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.16	0.16	0.16
	正規職員以外									
主な予算内訳	機械等借上料 565千円、通信運搬費 183千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 システム予約対象施設数	箇所	目標値	6	5	5	5	5
		実績値	5	5	5		
		達成度(%)	83.3%	100.0%	100.0%		
成果指標 システムの予約割合(システム予約件数/全体の予約件数)	%	目標値	50	50	50	50	50
		実績値	33	32	33		
		達成度(%)	66.0%	64.0%	66.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民が気軽にパソコン・携帯電話から予約することで、現場に行かなくても予約ができるため、利便性の向上が図れます。市民がスポーツに親しみ、余暇活動の場として、体育施設を利用することでスポーツ振興に寄与しています。
見直し・改善内容	引き続き、市民の方が予約システムを活用し、スポーツ施設を気軽に利用できるように改善を図っていきます。